

セキュリティ対策を俯瞰的に捉えて 全てのカテゴリーに対応した製品を提供

㈱ソリトンシステムズ(以下、ソリトン)は、セキュリティ技術にいち早く着目し、10年以上前から自社内に開発部門を設けて、ICカードソリューションやVPN、ログ監視ツールなどの製品を開発・販売し、通信事業者や金融機関を中心に多くの導入実績を残してきた。ここでは、現在、ソリトンが注力しているセキュリティ製品とその特長について紹介する。

強固なPCセキュリティ対策と 運用・管理の負荷を軽減する 「SmartOnシリーズ」

情報漏洩対策において、PCを利用して情報にアクセスするユーザーを認証し、アクセスコントロールを行うことは、基本的かつ重要な対策である。ソリトンの「SmartOn(スマートオン)シリーズ」は、ICカードやUSBキーなどの認証デバイスを使用して、PC利用時のユーザー認証、アクセス制御、ロギングといったデスクトップセキュリティに不可欠な対策を実現するPCセキュリティソフトウェア製品である。

SmartOnには、情報漏洩対策に必要な次の機能が用意されている。

Logon(ログオン・ロック)：認証デバイスを利用してPC利用時のユーザー認証を強化する機能。

Desktop(デスクトップ)：ユーザー毎にPCリソースに対してのアクセス制限をかける機能。

Crypt(クリプト)：グループ内(企業や部署等)で重要なファイルを暗号化して運用した場合に有効な機能。

Pass(パス)：PCログオン後に

起動させる各種アプリケーションの認証用パスワードを自動送出する機能。

LogServer(ログサーバー)：クライアントPCでの動作ログを取得する機能。

これらの機能を目的に応じて選択することが可能である。

また、管理システムも特長としてあげられる。SmartOnでは、クライアントPC用インストールディスクの発行からユーザー情報のカードへの設定・発行を「SmartOnマネージャー」が行う。これにより1台のPCがマネージャーとして利用でき、特別な管理用サーバや専用ICカード発行システムなどが不要となるので、システム管理者の負荷が軽減される。

製品ラインナップは、短期構築・短期導入を重視したスタンダードタイプの「SmartOn」₁、大規模ユーザー向けの「SmartOn NEO」₁、PC1台からの導入が可能なパーソナルタイプの「SmartOn Solo」で構成されている。

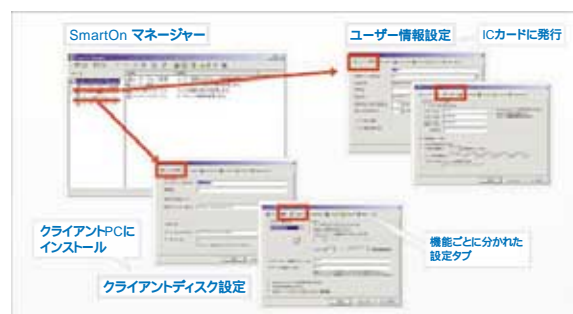


図1 SmartOnの管理システム

速攻性のある内部情報漏洩対策を 実現する「InfoTrace」

情報漏洩事件の80%は、企業の顧客情報や顧客データへアクセスできる内部社員の犯行であると言われており、これを防ぐためには、PCの操作状況を常時、把握・管理する必要がある。ソリトンの「InfoTrace(インフォトレース)」は、このような要求に対応したPC用ログ収集・解析ソフトウェアである。各社員のPC操作や通信の履歴をフライトレコード形式にロギングして、重要情報の不正利用を抑止。また、万一情報漏洩が発生した場合は、その流出経路を追跡し、迅速な対策を支援する。

InfoTraceには次のような機能が用意されている。

クイックインストール：特別なデ

データベースが不要なので、LogServerのインストールは約3分で完了。

記録(Logging) : PCのログイン/ログオフ操作から、ネットワークおよびローカルファイル参照、削除、名前変更、コピーなどのファイルアクセス情報を全て収集。

追跡(Trace) : 元ファイルからアクセス、操作、持ち出しまでのログを追跡し、経路をツリー型で表示する「拡張トレース機能」と、持ち出しデバイスなどのファイル名から親ファイルを見つけ出し、経路をツリー型で表示する「バクトレース機能」。

集計(Total) : ユーザー別、プリンタ別で指定した期間や条件における印刷集計を行う。

2005年10月には新バージョンの「InfoTrace V1.4」が発表された。このV1.4には、あらかじめ指定した操作をPC利用者が行った場合、管理者に警告して被害を最小限に食い止めるアラート機能がオプション

で搭載されている。

安全・確実な認証環境を実現する「Net 'Attest EPS」

近年、社内LANをはじめ、公共施設や大学、病院など、あらゆる環境で無線LANの利用が拡大している。その一方で、誰もがネットワークにアクセスし易くなったため、情報漏洩のリスクが高まってしまった。この問題に対して、ネットワークにアクセスするユーザーの成否を確認して、その権限を定義することで不正アクセスを防ぐのが、ソリトンの「Net 'Attest EPS」である。

Net 'Attest EPSは、無線・有線LANを問わず、IEEE802.1X環境に必要な機能の全てを集約したEAP認証アプライアンスサーバである。認証方法として、EAP-MD5、EAP-TLS、LEAP、MS-PEAP、EAP-TTLS、PAP、CHAPをサポート。DHCPサーバ機能を搭載することで、1台のアプライアンスサーバに高度な認証機能を集約。また、Webブラウザベースの管理ツールにより、CA(認証局)の構築、デジタル証明書の発行といったPKI管理を容易に行うことが可能である。

製品ラインナップは、大規模サイトに対応できる「Net 'Attest EPS-DX」、中規模サイ

ト用の「Net 'Attest EPS-ST2」、そして、小規模サイト用の「Net 'Attest EPS-SX」で構成。DXを本社サイトに、ST2を支店に配置するといった「親子関係」の構成が可能。例えば、ユーザー情報をDXにのみ登録すれば、ST側に一部を同期をとって利用できるなど、大規模サイトにおいても柔軟かつ信頼性、処理能力の高い認証システムを構築することができる。

Net 'Attest EPSは、企業や大学、医療機関、研究機関、開発部門などの無線LANや認証VLAN、インターネットVPN環境などで幅広く利用され、PKIに基づくセキュアな情報インフラを低コストで容易に構築するなど、高い効果を発揮している。

ソリトンは、セキュリティ対策全体を俯瞰的に捉えて、全てのカテゴリに対応したトータルソリューションを提供するために、製品同士の親和性を重要視してきた。例えば、SmartOnとNet 'Attest EPSを組み合わせて、PCとユーザーのシングルサインオン認証を構築するなど、目的に応じたソリューションを容易に実現できるのが強みである。

なおSmartOnとInfoTraceは、NTTコミュニケーションズが提供しているICカードセキュリティソリューション「セーフティパス」に採用されている。

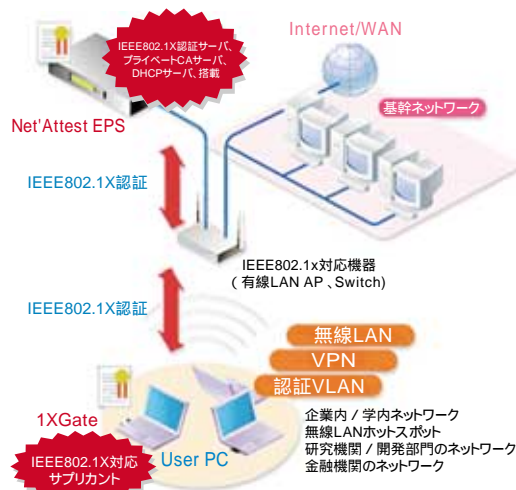


図2 Net 'Attest EPSのシステム構成図



Net 'Attest EPS-ST2

お問い合わせ先
株式会社ソリトンシステムズ
ネットワーク営業部

TEL : 03-5360-3811

URL : <http://www.soliton.co.jp/>